



〒892-0841 鹿兒島市照国町13-42 カトリック鹿兒島教区 電話099(226)5100 振込口座 02030-2-8359 編集発行 教区広報部 1部60円年間千共1100円



典礼を美しく奏でる助け手として

教区で初めての終身助祭の集い

鹿兒島教区で活躍する終身助祭が一堂に集い研修し、日ごろの悩みを分かち合うなど親睦を図る「鹿兒島教区終身助祭の集い」が十一月七日(木)から九日(土)まで教区本部で開かれた。出席した終身助祭たちは、郡山司教や司祭たちの講話から、終身助祭に課せられた役目と式典を美しく進めるための細やかな所作など熱心に学習した。

二〇〇五年から終身助祭制度を取り入れている鹿兒島教区で、現在活躍する終身助祭の数は六人。これは全国でも類を見ない多い数。それぞれに個性を生かしながら司祭の助け手として働いてくれるよう期待が寄せられている。そんな教区で働く終身助祭たちが初めて全員顔を合わせた。今回の集いで印象的だったのは、配偶者のいる終身助祭で、可能な人はそれを伴って出席したこと。独身を守り抜く司祭とは違い、家庭を持ちながら教会のために役務を果たすという役割には、配偶者や家族の理解が不可欠という認識からこのようにされた。

七日(木)午後から始まった研修会で最初の講話を担当した司教は「終身助祭は司祭不足を補うために制定されたのではない。助祭がいる教会がその本来の姿」と断言し、その上で「教皇フランシスコの生活スタイルを模範とし、典礼、みことば、愛の奉仕に励んで欲しい」とメッセージを送った。



司教講話で学習する終身助祭たち

集まった終身助祭たちは翌日の午前中にはザビエル教会聖堂で、ミサを荘厳で美しいものとするために、

捧持の仕方や立ち位置の確認など細やかな所作を寝占神父と郡山司教の指導のもとに学習、また午後からは泉浩二神父から福音宣教についての講話を聞いた。最終日の九日には寝占神父の講話で学習した終身助祭

奄美大島地区で信徒大会開催

活動報告で今後の宣教の在り方を模索

奄美大島地区信徒大会が十一月三日(日)奄美市の聖心教会で開かれた。奄美地区宣教司牧を考える会が主催した同大会は「信仰年」

の締めくくりとして、「十年後の奄美の教会に希望を見出そう」としたもので、島内七つの小教区から集まった信者たちで大きな聖堂

新風

鹿兒島教区には、二〇〇五年九月に終身助祭に叙階された久保俊弘助祭、桃蘭淳一郎助祭をはじめとして四條淳也助祭、池上聖行助祭、そして川口茂助祭と石神秀人助祭の計六人の終身助祭がいる。

出版された「終身助祭」を土台に終身助祭のあるべき姿について学んだ。助祭は司祭職に至る一つの段階ではなく「聖職位階の固有の永続的な段階として再興す

終身助祭の集いを終えて

り」を全時課唱えることの確認と「終身助祭の集い」を今後も続けることが決定された。

二日目は午前中、典礼の具体的な実践と練習、午後

規約など一部改正

十月の臨時司祭評議会

十月二十八日(月)午後二時から教区本部で臨時司祭評議会が開催された。今回の議題は①司祭評議会の規約の一部改正、②二〇一四年度の行事予定について、③その他、だった。

しが期待されていた。見直された改正箇所は司祭評議員の構成員についてで、見直しによつてその構成は教区司祭三人、レデンブートル会二人、ザベリオ会一人、コンベンツアル会から一人となった。また、任期もこれまで二年であったものを四年に改め、再選の項は削除となった。

年三月三十一日から四月二日まで「中高生巡礼」、五月二十五日「北薩大会」、七月十三日「ブイジュ祭」、八月三日から五日「子ども大会」、八月二十三日から二十四日「九州青年キャンプ」などが組み込まれた。この年間行事予定はまた後日各担当者の意見を組み入れた後、来年一月の司祭評議会、コンベンツアル会式決定となる。③のその他ではレオ祭の正式名と通称が検討され、正式名「福者レオ税所七右衛門殉教祭」、通称「福者レオ祭」とされた。(報告・寝占教之)

鹿兒島で研修会

九州カトリック学校 宗教倫理担当者

十一月七日(木)から三日間、「第三十五回九州地区カトリック学校宗教・倫理担当者研修会」が鹿兒島市を中心に開催された。

今回の研修テーマは「きずなの再生」、九州各地から集まった約三十人の出席者たちは、ザビエル教会と教区本部を会場に賢明学院



修道会便り

▼新地区長にエルハルド修道女
レデンブートル宣教修道女会では九月に地区長交代があり、澤ヤエ子修道女に代わってエルハルド・ワルトラウド修道女が日本地区長に就任した。

は泉浩二神父より自らの宣教活動に基づいた、宣教についてのお話と質疑応答。三日目は事前にいただいたアンケートの分かち合いを行い、日頃から感じている問題と課題について話し合った。

二泊三日の「終身助祭」の集いを行い、終身助祭の方々の鹿兒島教区への深い思いに触れる事ができた。今後、主任司祭方との深い交わりを通して小教区で主のみ旨に従い、思う存分働いて欲しい。(教区本部)

濱田盛茂神父様を偲んで 気さくだった島出身の神父様

浦上教会 平 三 國



故濱田神父様

今年七月二十六日、マテオ濱田盛茂神父様（コンベンツアル聖フランシスコ会）は七十九歳で亡くなり、その葬儀ミサは七月二十八日、古田町教会でささげられました。神父様は龍郷町

北薩カトリック大会での体験発表③ 神さまの呼びかけにこたえる

カノッサ修道女会 シスター玉越

幼い頃、私は「信仰が深く、心の清い人が神父やシスターになるでしょう」と思い、自分のことはそんな器ではないと思っていました。

高校生の頃「こうすべき、あれをしては駄目。そうしないと裁かれる。恐ろしい神様に縛られている」ように思い、逃げ出したくて教会に行かなくなりました。その頃は望んでいた自由を手にしたかのように思っていました。

仕事に就いてから職場で「お互いに気持ちよく働けるように」と努力してもうまくいかず、自己嫌悪に陥ったときに神様の愛と出会って教会に戻ることになり、聖書の勉強会などを通して、イエス様が教えて下さった神様の真の姿を知る喜びと恵みを体験させて頂きました。

私が修道者として召し出されているか、はつきりとは分かりませんが、自分が神様の慈しみ深い愛を知ることによって新しい命を与えられたように感じ、少しでも多くの人々に神様の愛を伝えたいと、私の歩みをサポートして下さったカノッサ修道女会に入会を願い、現在に至っています。

神様は召し出した人に自分の弱さを悟らせようとするのだと思います。それは自分の力ではなく、神様の力によって生きるよう導くためです。ですから人や出来事などを通して神様の呼びかけを感じた人は、自分の良さも弱さもご存知の神様が必ず導いて下さると信頼し、「はい」とこたえてください。

嘉渡の出身で、私より三つ先輩です。神父様は奄美大島で宣教されるときは、島の方言を使われたり、八月踊りや六調の輪に入られるなど、その気さくさで信徒たちから慕われていました。また教区報でも紹介されましたが、十三年前にはネパール訪問をされるなど、貧しい国の子どもたちのために関心を持たれていました。

その神父様は亡くなる前は、人工透析などの治療を

され、苦しまれていたようでした。「島口を使える島出身の聖職者が少なくなっていく中、神父様を早々に召され

るとは神様は何をお考えなんでしょう」でも確かに神父様には次の聖書の箇所がぴったりです。「わたしは戦いを立派に戦い抜き、決められた道を走り通し、信仰を守り抜きました」（二テモテ4・7）天国から奄美大島と日本の教会のために祈っておられることでしょう。

県代表で出場し金賞・銀賞

全国障害者スポーツ大会

大口教会 祁答院エミ子さん

は御年七十三歳。光明学園寮に勤務し、教会の庭の草取りや清掃に元気に汗を流す人気者である。「エミ子さん」と皆に親しまれている彼女が快挙を成し遂げた。

十月十日（木）から六日間、東京は「味の素スタジアム」で開催された「第十三回全国障害者スポーツ大会」に出場したのだ。伊佐市からただ一人選ばれたエミ子さんが出場したのは陸上競技。砲丸投げと立ち幅跳びにエントリーし、砲丸投げでは銀賞、そして立ち幅跳びでは金賞を獲得した。



ますます笑顔輝くエミ子さんになった。（報告・綾部素世）

松森神父新任地へ めぐみの園で 入所者ために生きる

めぐみの園

入所者ために生きる

八十一歳になった。これまでにザビエル、司教館、紫原、加治木、徳之島、マリヤ山荘などで司牧して来ている。

若い頃の松森神父は「かなり厳しい人だった」という思いだが、年を重ねるごとに微笑みと笑顔に溢れた「長閑さ」の代名詞のような人になったように思う。

そんな松森神父が、十月二十九日（火）郡山司教と本部職員を伴って奄美大島へと旅立った。

神父が向かったのは、シヨファイユの幼きイエズス会が経営母体となっている聖嬰会・特別養護老人ホーム「めぐみの園」



（奄美市名瀬西仲勝シスター南谷豊子園長）への入所のため。この夏、太腿骨折による手術を受けた後、リハビリを続けてきたが思うように回復せず、「介護なしの生活をさせるのはかわいそう」とい

お詫びと訂正

教区報11月号で、皇帝ネロを英語のアルファベットで表記するとNRW(OX)NKSRとなります。そして、この時代のヘブライ語のゲマトリアを使うとNは50、Rは200、(OX)は63と記載しましたが、(OX)は校正のため、正しくは「皇帝ネロを英語のアルファベットで表記するとNRWNKSRとなります。そして、この時代のヘブライ語のゲマトリアを使うとNは50、Rは200、Wは63と記載しました。お詫びし、訂正いたします。広報部

聖書の中の数字が表すもの

鈴木神父のやさしいみことば

ムはユダヤ民族の始祖であり、ダビデとはユダヤ史上最高の王であり英雄です。そして、バビロニア移住、即ち、バビロン捕囚とはユダヤ民族のアイデンティティが失われかねない危機的時代でした。つまり、

この名前をヘブライ語のゲマトリアを使って表記するとDは4、Wは6、Dは4となり、合計すると14になります。

イエス様とファリサイの人々との問答の中でイエス様は「あなたたちはメシ

アのことをどう思うか。だれの子だろうか。彼ら（ファリサイ派の人々）が、『ダビデの子です』と言（つた）という場面があります（22・42）。この言葉に見られるように福音記者マタイが伝えようとしたことは、イエス様がごが嘗てイスラエル全土を統一し、エルサレムを首都に定めダビデの町と呼び、契約の箱をエルサレムに戻したダビデの子孫であり（サム下5・6・9、6章）、イスラエルの民が待ち望んでいたメシアであることの宣言でもあったのです。こういうこともあって、マタイに「ダビデの子」という表現が福音書の中で最も多く



マタイ福音書は誰が誰の子であるといったことが細かく書き記された系図から始まっていますが（1・17）、実はここに福音記者マタイのイエス様に対する理解が込められているのです。

さて、この系図の中で重要なことは14という数字が三回使われているということです。最初に、アブラハムからダビデまでが14代、次に、ダビデからバビロン移住までが14代、最後に、バビロン移住からキリストまで14代と記されています。

簡単に言えば、アブラハム

レオに倣い淡々と惜しみなく

殉教祭で信仰の美学を学ぶ

恒例の「福者レオ税所七右衛門殉教祭」が十一月十七日(日)午後、薩摩川内市の福者ゆかりの地であった。今年の殉教祭にはレオの出身地の都城からだけでなく二日市教



会や山口県光教会、大分、長崎からなど教区外からこれまでにない多くの出席があった。殉教祭はまず午後一時の京泊教会跡地での祈りから始められた。ドミニコ会の宣教師によって川内港を見下ろす小高い丘に建てられたというレオ七右衛門が受洗した教会の跡地に集まったのは、百五十人余の信者たち。そこで京泊教会の歴史とレオの受洗から殉教に至る解説を聞いた後、聖歌を歌い、ロザリオの祈りをささげた。

は集まった二百八十人ほどの信者たちに「レオ七右衛門をはじめとする殉教者たちの生き方はとてもまぶしい。洗礼によって潔い生き方を選んだ彼らならではだ。宗教の自由が認められている現代社会では、彼らのように死に直面することはないが、社会は殉教者たちの淡々と惜しみなくという生き方を模範として生きようとする私たちの思いを壊そうとする。そんな社会に絡めとられないよう殉教者が抱いた確信を私たちの

確信として生きていこう」とメッセージを送った。終身助祭四人と十四人の司祭、そして司教でささげられたミサに参列した信者たちは、その後、川内教会婦人たちの接待を受けた後、レオ七右衛門が殉教した平佐の町に足を運び祈りをささげ散会した。

「短信」

▼カトリック墓地でミサ
十一月二日(土)午前十

ボランティアを募集しています

ザビエル教会総合案内窓口

ザビエル教会敷地内には、教会と隣接して書院と総合案内の窓口があります。この窓口の案内には夜

司教執務室便り

家庭で祝うクリスマス

待降節に入り、クリスマスが近づくと思い出されるのは「ドイツでは、クリスマスは、教会ではなく、各家庭で祝います」というある神父様の言葉です。教会でのクリスマスパーティーが当たり前の私にとっては、とても新鮮に響いたものでした。キリスト教国とそうでない日本との違いを実感したことを覚えておいてください。クリスマスは、誕生祝いは家庭で、考えれば、イエス様の誕生を祝うための家でのパーティーがあってもいいわけ

です。話は変わりますが、鹿児島教区の終身助祭制度は、教会での活動だけでなく、その特性からして、家庭を中心とした宣教活動を目指しています。先月の助祭研修会も夫婦での参加を原則としました。実際には二組に留まりましたが、私にとっては、改めて家庭での福音宣教を考える機会となりました。そして、思い起こされたのが、冒頭の言葉であり、教会で

のクリスマスパーティーから「家庭でのパーティー」へという発想の転換でした。これは、新しい福音宣教の一つの形になるかもしれないと思つたのです。

ミサ後のパーティーには宣教的意味があるのは確かですが、お隣の家族や友人夫婦を招いた家庭でのクリスマスパーティーができたなら素晴らしいと思います。クリスマスは華やかなイメージがありますが、ごちそうやケーキよりも質素さを旨とし、何よりも、神様からの最高のプレゼントである救いの主の誕生を喜び祝うのにふさわしく楽しいものでなければなりません。子供たちには小さなプレゼントが必要でしょうが、質素さの説明をするだけでも、クリスマスの意味を伝えることになりません。

もちろん、どの家庭でもできるわけではないでしょうが、身近な人々に救い主をプレゼントするのにはふさわしい家庭での手作りパーティーという新しい信仰の伝統、想像するだけでも楽しくなるのですが、いかがでしょうか。是非、各小教区で話し合っていたいただきたいと思います。



時から鹿児島市唐湊にある「カトリック墓地」で死者のためのミサがささげられ、約五十人の信者が参列した。



会と催し (12月)

- 1日(日) 待降節第一主日
- 3日(火) 宣教地司祭育成の日
- 6日(金) 小川靖忠神父叙階記念(一九七二年)
- 7日(土) 教皇大使歓迎夕食会・城山観光ホテル・18時
- 8日(日) ヴィンデンマン神父命日(二〇〇六年)
- 9日(月) 待降節第二主日
- 14日(土) 教皇大使歓迎ミサ・ザビエル教会・11時
- 15日(日) 市民クリスマス・ザビエル教会・14時30分
- 19日(木) 無原罪の聖マリア
- 20日(金) キツペス神父の黙想会「イエズスに近づいて」・マリア山荘・15日まで
- 22日(日) 待降節第三主日
- 23日(月) 有馬信茂神父命日(二〇〇七年)
- 25日(水) 大野和夫神父叙階記念(一九六一年)
- 26日(木) 待降節第四主日
- 27日(金) 松永正男神父叙階記念(一九六九年)
- 28日(土) 主の降誕
- 29日(日) 聖ヨハネ使徒福音記者
- 29日(日) 田邊徹神父、寝占敦之神父、山口好信神父、末吉卓也神父霊名
- 29日(日) 幼子殉教者
- 29日(日) 聖家族

祈りの意向

【ノベナ】 主の降誕に向けて洗礼の恵みを頂いた全信者のために(17日~25日)

【祈祷の使徒会】 一般・犠牲にされる子どもたち 宣 教・救い主の到来の準備 日本教会・エイズに関心を持つ

+KABAYAN SEKSIYON+ Pananampalatayang Hinubog ng Misteryo Paskuwal

Lahat sa buhay ng tao ay sumusunod sa misteryo paskuwal; sa simpleng salita, paulit-ulit na tinatahak ng ating buhay ang landas ng pagkamatay patungo sa bagong buhay. Maliwanag na nasasalamatin sa buhay ng tao ang huwaran ng misteryo paskuwal. Nagsisikap tayong gumalaw mula dilim patungo sa liwanag, mula sa pagkabiha tungo sa paglaya, mula paghihirap tungo sa kaganapan ng buhay, mula sa pagkalumbay tungo sa kaisahan, mula sa pagka-kasala tungo sa biyaya at bagong buhay.

Sinisikap ng mga Kristiyanong may pananampalataya na tahakin ang landas na ipinakita sa atin ni Kristo sa kanyang misteryo paskuwal. Bawat taon tuwing Seman Santa naglalakad tayosa diwa ng malalim na pananampalataya-kasama ang nagdurusing Tagapagligtas. Pumapasok tayong kasama si Kristo sa kanyang pagpapakasakit at pagkamatay; sa pamamagitan ng kanyang muling pagkabuhay, Masaya tayong nakikibahagi sa bagong buhay.

Ang araw-araw na pagsasabuhay sa misteryo paskuwal ay nangangailangan ng taimtim na pananampalataya, isang malalim na ugnayan sa Tagapagligtas nating nagdurusa ngunit muling nabuhay. Nakakadaupang-palad natin si Kristo sa mapagligtas niyang misteryo paskuwal; sinikap nating maging kaisa ng buong sanlibutan sa landas ng pagpapakasakit. Tunay nga na ang pamumuhay bilang isang "Kristiyanong paskuwal" ay humihingi ng isang pananampalataya yang higit pa sa paimbabaw lamang!

Kaya ang ating buhay pananampalataya ay nakasentro sa Muling Pagkabuhay ng Panginoon. Ang sinumang nabubuhay sa pamamagitan ng mga itinuro sa atin ng Misteryo Paskuwal ay hindi malayo sa pagmamahal ng Diyos diyan kay Hesukristo. Maging matatag sana tayosa araw-araw ng ating pamumuhay sa pagsaksi sa Muling Pagkabuhay ni Hesukristo.

1 車神父の「虹の祝福」
 (Blessing of the rainbow) 未来司牧研究所(Future Pastoral Institute)の車神父(Cha Dong yeop) 神父さまの主著である『虹の祝福(Blessing of the rainbow)』は、韓国で、ベストセラーとなっている書で、百万部以上売られています。その書の中で、車神父さまが強調されておられることは「福」と成功は、あなたが、どう考えるか、どう物事を受けとめるか」というところにあるということ。幸福と成功の秘訣は、「すべての消極的(negative)・受身的(passive) 考え方を、積極的(positive) 考え方を、積極的に変えていくところにあります。未来は、あなたが「私はいかに出来るか」私はいかに信じて、あなたが自身に挑戦(challenge)し自分を変えて(change)いくことよって開かれていく、そう、車神父さまは、語られておられます。

車神父さまがもう一つ強調されておられることは「神はすべてのものを創造し、さらに祝福し、今も(自分を含めて、すべてのものを)祝福され続けておられる」ということです。それは聖トマス・アクィナスが『恩寵は自然を破壊せず、かえって完成させるのです(Gratia non tollit naturam sed perficit)』と述べているのと同じです。車神父さまは、同著の中で「Grace builds on Nature」(恩寵は自然の上に建てられている)という表現で現しておられます。人は、すでに神によって祝福された存在なのですから、「願い求めることは、必ず出来る (You can do it)」のです。祝福される存在として、私たちは存在しているのですから。

2 現代韓国キリスト教の成長・その特徴(一) 経済的・社会的成功は信仰の果実

このような車神父さまの考え方は、アメリカのキリスト教の影響を受けたものと言えましょう。それは、プロテスタント教会で八十万の信者を擁するヨイド教会の主管牧師パウロ・チョー・ヨンギョー牧師が、アメリカのノーマン・ピール牧師、ロバート・シユール牧師の「積極的思考(positive thinking)」「成長理論(real possibilities, more than numbers)」の流れを汲んでいることから知られます。

朝鮮のキリシタン史(3)

清道教会主任司祭 坂本 進

3 韓国キリスト教の特徴
 韓国キリスト教の特徴は、(一) シャーマニズム(アニミズム) 精霊信仰から派生するもの) の影響を残していると言われている。儒教の目上に従うという教えとあいまって、カリスマ性を持つ指導者が教会をリードしていくという傾向が顕著に見られます。

韓国教会は、戦後、信仰的復興を生み出すエネルギーと連動し、著しい教会成長を遂げさせるに至らせたと言えましょう。教会が祝福されることは、教会に集う信者一人ひとりに、神の祝福が与えられることでもあります。信仰を持つことは社会的、経済的にも豊かにされていくことにつながられていくのです。つなげられていくべきであり、そうでなくてはなりません。ヨイド教会は一九五八年にゼロから開拓伝道として始められ、一九七七年には五万人、一九七九年に十万人、八四年に四十万人を超え、九二年には七十万人

側面が見られます。理のキリスト教は、明洞聖堂の金寿煥枢機卿に代表され、気のキリスト教は、ヨイド福音教会のチョー・ヨンギョー牧師に代表されていると言えましょう。

また、儒教には祖先崇拜が強く残っていることから、韓国キリスト教にこの影響も強く残されていると言えましょう。(3) そして、本誌「二〇一三年十月号」「二〇一三年十一月号」でも述べたように、対外的影響が及んでいきます。それは、戦前の抗日運動、南北朝鮮の分裂などの政治的苦難の状況から生み出されました。ユダヤ人になぞらえ、韓国人こそ神から選ばれた選民であるという思想を持つに至ら

- には、鹿児島でも「ラプソナタ・クルセード」がもたれ、鹿児島市民文化ホールに二十人の参加者が集められたことは、記憶に新しい所です。韓国から、この伝道集会のために、二百人の伝道チームが来日。会場の費用、飛行機代、滞在費、韓国芸能スターの出演料などはすべて、韓国伝道チームが出されたということ。このような救霊の情熱を起こさせるものは、どこから出てくるのでしょうか？
- 4 車神父の七つの「救いのための原則」**
 結びとして、車神父さまの『虹の祝福』に記された救いのための生活実践上の具体的七つの原則をご紹介します。『信仰の救いの確信を得るためには、次の七つの原則を実践して生きることが大切』と車神父さまは述べられておられます。
- ① Think positively すべて物事を肯定的・積極的に考えよ
 - ② Scatter the seed of wisdom 知恵の種をよく育てること
 - ③ Nurture dream 夢をふくらませておくこと
 - ④ Believe in achieving 成し遂げることを確信すること
 - ⑤ Discipline your language 積極的ことばの使い方を訓練すること
 - ⑥ Discipline your habits 習慣を前向きな方向に指向付けること
 - ⑦ Never give up 決してあきらめないこと
- みなさんは、どう思われますか？

参加者募集 第26回ネットワークミーティング

対象：18歳以上(高校生不可)
 日時：2014年2月8日(土)12時~9日(日)13時
 場所：神言会多治見修道院 ログハウス・研修センター (岐阜県多治見市緑ヶ丘38)
 参加費：5,000円(延泊：3,000円)
 定員：100人(定員に達し次第、締切) 申込期限：12月8日(日)
 申込方法：①氏名②性別③職業④生年月日⑤年齢⑥所属教会⑦住所⑧電話番号⑨緊急連絡先⑩本人との関係⑪メールアドレス⑫会場までの交通手段⑬過去のNWMへの参加回数⑭延泊希望の有無⑮好きな歌、などを明記の上、郵送か電子メールで下記へ
 申込先：〒461-0004 名古屋市東区葵2-6-35 カトリック名古屋教区センター「カトリック名古屋教区青年委員会」
 ※メールでの申し込みは nwm.in.nagoya.2014@gmail.com

文芸

短歌

大笠利教会 稲 牛憲
 むだ多く生きし年月悔し
 けれど最期良ければ全て
 良しとぞ

俳句

出水教会 遠竹睦郎
 洗礼に貫ひし聖母マリア
 像部屋に飾りて日毎祈り
 ぬ

帰国せし神父の呉れしキ
 リスト像日毎拝みて神父
 偲びぬ
 北海道のアイヌの作りし
 ネットタイをきちんと締め
 て教会に行く
 鹿児島純心 川上 和
 この年に燃ゆる信仰豊か
 に受け喜びのきずな深め
 る日々
 椰子の街足跡刻むザビエ
 ルの熱き思いや薩摩に燃

ゆる(ザビエル様の祝日
 に寄せて)
 鹿児島市 徳永ノブ子
 行く秋や司祭も踊る前夜
 祭
 コスモスの押し合い揺れ
 る踊る如
 こぼれ種主は平等に咲か
 す日草
 鹿児島純心 川上 和
 青き空どこまで上る桜島
 美しき花は未練の誘ひ水
 霧島市 林 常広
 季節すぎハイビスカスや
 朝のミサ
 繰り返す日々の暮らしや
 醉芙蓉

